

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	地域の宝「人」と「文化財」が協働したコミュニティ創生事業
対象地域	沖縄県中頭郡北中城村字荻道・大城地区
対象地域の概要	  【両自治会長による兄弟棒】 【チブガー】   【沖縄県】 【北中城村】
提案内容の概要	地域住民が主体となり、老人から壮年、青年、子どもへ地域の伝統を繋ぐ地域リレーを実施できる体制をつくり、継続した地域コミュニティ意識の啓発、保全を目指す。そのため、地域伝統文化の伝承、地域住民によるマップ作成、全世帯との地域情報共有に取り組む。又、地域情報を地域外にも配信する。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	両地区において若者の地域離れ、地域住民の移住が地域コミュニティの保全を非常に困難なものにしている。両自治会は地域活動が活発で自治会単独での地域おこしに積極的に取り組んでいるものの、青少年の地域活動への参加が乏しく、地域伝統文化や儀式が継承できなくなる恐れがある。又、新たに地域に移り住んできた移住者に対して地域への積極的な参加を啓発できていない現状がある。高齢化が進み、人口が緩やかに減少しつつある両自治会にとって、青少年への地域文化財の継承は非常に重要であり、青少年が地域に関心を持つような取り組みをする必要があると共に、地域住民全員が地域について考える必要がある。
(2) 活動内容の案	活動①：地域文化財の保全、伝承 内容： (1) 文化財を活かした地域マップ作成 【活動主体】荻道・大城湧水群活性化実行委員会（ ）により詳しく分類。

	① 地域探検マップ・・・・・・・・・・(子ども会・企画開発課・NPOおきなわ環境塾) ② 健康ウォーキングマップ・・・・(※既存資料使用) ③ 琉球文化財巡りマップ・・・・(自治会・生涯学習課) ④ 自然文化財マップ・・・・・・・・(自治会・生活環境課・NPOおきなわ環境塾) ○上記の四つの分野から地域マップを検討。四つを統合した地図や地域情報も掲載する。 (2) 無形文化財(兄弟棒)の継承 【活動主体】荻道・大城湧水群活性化実行委員会 ○現在では形式化されている棒術の型を固定化し、以後継承する。 ○棒術の型を固定するため、専門家を招き、細かい指導を依頼する。 ○練習を9月から毎週1回行い(計16回)本番のハチウビーで披露。 ○両自治会の青年を対象に伝承する。 (3) 全世帯へ教本を配付 【活動主体】荻道・大城湧水群活性化実行委員会 ○地域の文化財・歴史情報を掲載した教本を作成。 ○検定問題を作成し、正解数に応じて回答者がどれだけ地域を熟知しているか確認。
	活動②：地域文化財の調査 内容： (1) 地質・水質の調査 【活動主体】荻道・大城湧水群活性化実行委員会 ○地質調査は、現地視察、資料を考慮しデータとして作成。 ○水脈については、実際に立ち入り調査を行い、データ採取。
	活動③：地域文化財の発信 内容： (1) 湧水群写生大会 【活動主体】荻道・大城湧水群活性化実行委員会 ○10箇所ある荻道・大城湧水群を対象に写生大会を開催。 ○期間：8月～9月 ○選定：10月 ○表彰：優秀賞、副賞、村長賞など検討。
応募団体名	荻道・大城湧水群活性化実行委員会
リンク	
部局／担当者名	事務局 仲村 洋
連絡先	098-935-2233 (内273)
推薦市町村名	北中城村